

祝令和元年

かみ
自然の恵み・人のふれあい南アルプス邑

広報 はやかわ

2019

9

No.659

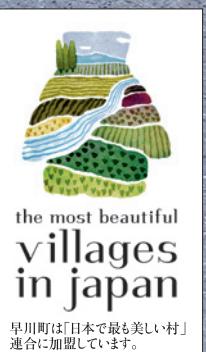


8月11日、奈良田の里駐車場において、
第2回「奈良田盆踊り復活祭」が行われ
ました。



南アルプス
ユネスコエコパーク

平成26年にユネスコ
より指定を受けていま
す。豊かな生態系や生
物多様性を保全し文
化・経済・社会的に持
続可能な発展を目指
します。



早川町は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。

令和2年度 コミュニティ助成事業の 募集について

一般財団法人自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するためのコミュニティ助成事業を行つております。

現在、令和2年度コミュニティ助成事業の活用団体を募集しています。希望される団体は、役場総務課財政担当までお問い合わせください。

近年の採択された事業と助成額

令和元年度	
本村地区LED防犯灯整備及びテントの整備	120万円
黒桂地区LED防犯灯整備及び放送器具の整備	110万円
平成30年度	
硯島地区公民館備品購入	250万円
平成29年度	
南アルプス白鳳太鼓備品整備	200万円

早川町役場 総務課 財政担当
電話 0556-45-2513



ハロウインジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウインジャンボミニ3,000万円

(1等2千万円・前後賞各5百万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



クーチャン

9月24日㈫ 2種類同時発売! 発売期間 9/24㈮～10/18㈮
抽せん日 10/30㈬

公益財団法人山梨県市町村振興協会 各1枚 300円

行政書士による無料相談会

山梨県行政書士会では毎年10月の「行政書士制度広報月間」に、県民の皆様に行政書士制度についてご理解をいただくための事業に取り組んでおり、本年度も次のとおり実施いたします。

○県下一斉無料相談会

日 時 令和元年10月12日(土)
会 場 小瀬スポーツ公園 体育館研修室（甲府市小瀬840）
身延町中富総合会館（身延町切石360）

○相談内容

遺言・相続、農地利用、契約書作成、在留許可、自動車登録、戸籍、成年後見、会社・各種法人設立、営業許認可など

○お問い合わせ先

山梨県行政書士会(山梨県行政書士会館)

甲府市丸の内3丁目27-5

☎ 055-237-2601

上流研1ヶ月情報



9月のトピックス

7月29日（月）、町内学校の先生に依頼され、かつて早川本流沿いを中心に、雨畑川上流域までにも走っていた「トロッコ」の話を、「やまびと講座」の番外編として講義させてもらいました。座学の後は、トロッコが走っていた時代を偲ばせる場所を案内しました。「やまびと講座」にはすでに『川』『道』の2テーマが完成していますが、『トロッコ』はその中間に位置するテーマのため、どちらでも取り上げていませんでした。あらためて『トロッコ』という課題で依頼を受け、「やまびと講座」既成2テーマを融合させ、さらに資料を加え、講座として完成させてみると、これがまた面白い！当時の近代化が、どれだけエネルギーに満ちていたのかを想像し、昭和31年に合併して早川町が誕生する、早川流域の旧6地区（西山・三里・都川・硯島・五箇、本建）をつないだのは「トロッコ」がきっかけだったのかもしれない、そんな考えさえ芽生えました。南アルプスユネスコエコパークの一地域として、人類が自然とどう関わっていくべきなのか、深い課題を追及する



昭和10年頃の大島分岐点



西山温泉客を乗せ走ったトロッコ馬車

※参考写真…富士川（村田一夫）
写真集より

きつかけにもなりそうです。
このような機会を与えてください。
上流研には、地域情報の引き出しがたくさんあります。今回のようなご相談も承りますので、お気軽にご相談ください。

上流研1ヶ月の動き

上流研の活動のうち、主だったものをお紹介します。（～9月前半）

集落支援事業	8/11(日)「山の日」に開催した第2回「奈良田盆踊り復活祭」も盛況でした。昨年の第1回に引き続き実行委員として参画し、参加者やボランティアスタッフより「楽しかった！」、「関われてよかったです。来年も声かけてほしい！」という声が続々届くのは、嬉しい限りです。今回は提灯スポンサー、プログラムの一部として映画『盆唄』の上映会を組み込むなど、新しい取り組みにもチャレンジしました。昨年の「何としても10年続ける」という宣言通り、早くも来年に向けた動き出しも始まっています。集落の維持活性化に向けたこのような動きを、しっかりサポートしていきます。
情報誌 「やまだらけ」	やまだらけNo.90が完成しました。今号は町の地層や石を取り上げました。今では、急峻な山に囲まれた早川町。なぜ海の由来の岩石が採れるのか、そして、高度経済成長期の頃の庭石ブームで庭石として県外にも販売されていた白鳳石や硯山五色石とはどんな石なのか、今でも河原で見ることはできるのかといったことを載せてています。裏表紙は南小学校の「読み聞かせ」です。
早川子どもクラブ	9月の早川子どもクラブは、8日(日)と21日(土)、10月の早川子どもクラブは、20日(日)に開催予定です。たくさんのご参加お待ちしております！また、10月5日(土)に曾根丘陵公演にて行われる原っぱコンサートに、ブースを出店いたします。当日は、大友剛さんによる"マジックと音楽と絵本のコンサート"のほか、遊びや体験、飲食などのブースが34点出店されます。こちらもぜひ遊びにいらしてください。
早川町観光協会	8月は、沢山のお客様が案内所に訪れてくださいました。早川町を気に入ってくれる方もおり、嬉しい限りです。7月28日(日)に夏の大トラねこ市を開催予定でしたが、台風の影響により中止とさせていただきました。その節は、大変ご迷惑をおかけ致しましたこと深くお詫び申し上げます。次回は秋の大トラねこ市、10月20日(日)湯島の湯にて開催いたします！現在、出店者・出演者を絶賛募集中です！！作物やクラフト、フリーマーケットでも構いません。早川町を盛り上げるためにもぜひ皆様ご協力よろしくお願ひいたします。お気軽にお問い合わせください！ →0556-48-8633（観光案内所）

お 知 ら せ



はやかわ地域おこし協力隊通信 ⑤

こんにちは、「地域おこし協力隊」の隊員として「N P O 法人早川エコファーム」に派遣されている山崎 頌平（やまざき ようへい）です。

私は5月号の記事で筆を執らせていただいて以来となります。折角の機会ですので、皆さまに8月末までの、主な活動の報告をさせていただければと思います。

私たちは、4月から8月末までに3つの収穫・加工ができる食農体験をヘルシー美里と共に催で企画・実施いたしました。観光に訪れた172名のお客様に楽しんでいただける結果となりました。

〈食農体験の内容一覧〉

- 4・5月 山菜・野草採り体験
- 6月 梅もぎと梅酒・梅シロップづくり
- 6・7月 新じゃが掘りとたき火で焼きじゃが体験

中でも「新じゃが掘りとたき火で焼きじゃが体験」は、地域の方の畑で里山の生活を学び、お話を聞きながら「収穫→加工→食べる」ことができる食農体験です。地域の方が温かく親身に接してくださるため、お客様は早川町を「ふるさと」と感じてご帰宅されるようです。お客様からの満足度が高く、喜びの声も多くいただきました。ご協力いただいている地域の方々、本当にありがとうございます。

また、236名の都会の方が、獣害対策ネットの設置や草刈り作業、作物のお世話などに参加してくださいました。5ヶ月間で236名という人数は、2日間で3人が農作業をするために参加している計算になります。それだけ多くの方に「早川町に貢献したい」と思っていただき、活動してくださることを、私はとても嬉しく感じております。

早川町に貢献したいという方が整備してくださった畑を、観光に訪れたお客様に喜んでいただく場所に活用していく…、そんな仕組みが持続するように、これからも尽力していきます。

そんな活動の一つとして、今年は「三里地区早川集落の伝統的な味噌造りを復活させよう！」という企画に取り組んでいます。

現在、2月の味噌造りの材料となる大豆を無農薬で栽培しており、草取りに奮闘中です。

次回イベントは10月26日（土）に早川集落にて「枝豆収穫祭」を実施予定です。大豆になる前の枝豆を、みんなでちょっと味見しようというイベントですので、ぜひぜひご参加ください。もちろん、ちらっと見に来ていただけるだけでも大歓迎です。

お問い合わせは下記にまとめさせていただきましたので、お気軽にご連絡いただければ幸いです。これからも皆さまのご支援・ご協力をいただけるよう、精一杯努めてまいります。

○お問い合わせ

NPO法人早川エコファーム「おばあちゃんたちの店」事務局
電話 0556-48-2817 メール info@eco-farm.or.jp
(10:00~16:00、定休日：火・水曜日)



掛金に
国助成が
受けられる!



- 国の制度だから安心
- 掛金は全額非課税
- 外部積立型で管理が簡単
- パートさんの加入もOK

詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

(独)労働者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211



ラボ太くん キヨウラちゃん

合同相談会を開催します

◆日 時 10月17日（木）

午後2時～午後4時

◆会 場 早川町町民会館1階集会室

行政相談員・民生委員・人権擁護委員・保護司・消費者生活相談員による合同相談会を開催しますので、お気軽にご相談ください。相談は無料・秘密厳守です。

詳細については、役場総務課☎45-2511にお問い合わせください。

お 知 ら せ

.....



2019年10月1日、消費税・地方消費税の税率は10%へ

来月、10月1日に消費税・地方消費税の税率が10%に引き上げられます。10%のうち2.2%は地方消費税（地方税）です。

日本では高齢化が進み、社会保障の費用は増え続けています。みんなが安心できる社会にするためには、安定した財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぐとともに、全世代型へ転換していく必要があります。そのためには10%への税率の引上げが必要です。

引上げ分は、消費税・地方消費税ともに、全世代を対象とする社会保障の充実と安定のために使われます。例えば、①待機児童の解消、②3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化、③真に支援の必要な学生の高等教育（大学など）の無償化、④介護職員の処遇改善、⑤所得の低い高齢者の介護保険料の軽減、⑥所得の低い年金受給者への給付金の支給などです。

税率引上げに合わせて、飲食料品（お酒・外食を除く）と新聞（定期購読契約・週2回以上発行）に係る税率を8%に据え置きます（軽減税率制度）。このほか、家計や景気への影響を緩和するための対策も実施します。

※一般に「消費税」と言うのは、消費税（国税）と地方消費税（地方税）を合計したものです。地方消費税収は、地方自治体の貴重な財源として、住民の皆様の身近な行政に生かされています。

詳しくは、「政府広報 消費税」で検索してください。

秋の全国交通安全運動の実施について

9月21日（土）～9月30日（月）までの10日間、「秋の全国交通安全運動」を実施します。

夏の暑さのピークを過ぎ、過ごしやすい日も増えてくる時期ですが、行楽で訪れる県外車両や日没時刻が早まる等、交通安全に関しては、注意が必要な時期です。

悲惨な交通事故を防ぐため、早めのライト点灯、反射材の活用、全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用を徹底し、交通事故を防ぎましょう。

全国重点

- ①子供と高齢者の安全な通行の確保
- ②高齢運転者の交通事故防止
- ③夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑤飲酒運転の根絶

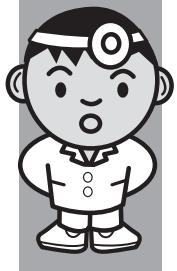
9月は健康増進普及月間です

生活習慣病の発症を予防する「一次予防」に重点を置いた対策を推進する全国的な普及月間に、市町村や健康づくり関係団体の協力を得て、山梨県も県民の健康づくりを呼びかけます。

◇「健康増進普及月間」の統一標語

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～健康寿命の延伸～

保健の窓



してよいでしょう。
町全体ではどうでしょ

養予防には、たんぱく質を中心
にしつかり食べることが重要で
す。

健やかな生活のために

早川町全体の様子を見てみま
よう。【図1】

皆さん、ご自分の体重は気に
していますか。「肥満」なのか
「ふつう」なのか「やせ」なの
かは、健康にも大きく影響しま
すね。9月は健康増進普及月間
です。この機会に、ご自分の適
正体重を知り、健康づくりのた
めの体重管理について考えてみ
ませんか。

肥満度を確認しましょう

肥満度を確認するのによく使
われるのが、体重と身長から算
出されるBMI（Body Mass
Index）という体格指数です。

計算式は次のとおりです。

$$\text{BMI} = \frac{\text{体重(kg)}}{\text{身長(m)}^2}$$

日本肥満学会では、BMI
22を「標準体重」
25以上を「肥満」として
います。あなたのBMIはいく
つでしたか。18.5以上
25未満のな
かに入つていればひとまず安心

20～39歳は受診者が少なく、こ
こでは男性の肥満者が0人で女
性の肥満が半数という結果にな
りましたが、実際には、このデ
ータに含まれない若い肥満の男
性をお見掛けすることが多く、
気になつているところです。

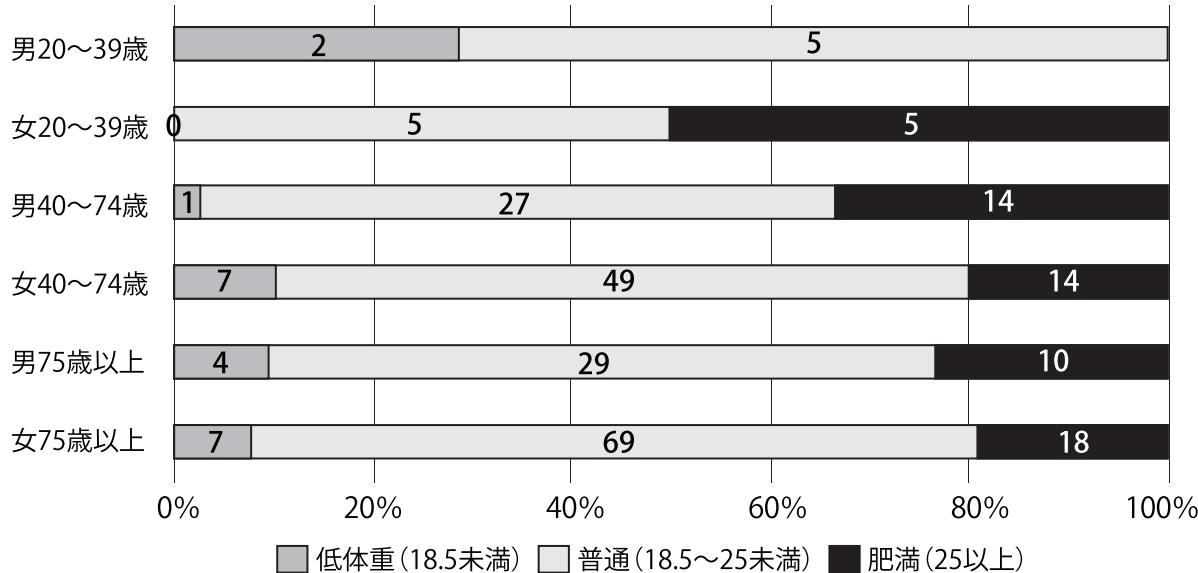
40～74歳の男性では、約3割
が肥満です。国や県と比較し高
い値です。この人たちがこのま
まの状態で年を重ねた時に、当
町では生活習慣病を発症する人
の割合が増えるのではないかと
危惧しています。

40～74歳の女性と75歳以上の
男女では、約2割が肥満で1割
が「低体重」です。高齢者の場
合は、虚弱につながるからと、
「低体重」が心配されていま
す。65歳以上ではBMI…20以
下を「低栄養傾向」とする指標
もあるので、BMI…18.5～20の
人も気を付けてください。低栄
養傾向

も、なかなか思うようにいかな
いのが体重管理です。かく言う
私も、BMI…25ギリギリ、
「ダイエット」と縁が切れない
人生です。最近では、ダイエッ
トアプリの力を借りたりもして
います。町の事業では、体重管
理を目的とした「健康づくり教
室」があります。ひとりではな
かなか達成できない「減量」
に、グループで取り組もうとい
うものです。また、食生活改善
推進員会は、活動の一環として
「高齢者の低栄養予防」につい
ての普及活動をしています。体
重管理の成功の秘訣は、自分に
合った方法を見つけることかも
しれません。これらを上手に活
用して、適正体重を維持し、健
やかな生活を目指していきま
しょう。

上田 美穂 保健師

【図1】性別・年代別 BMI (H30総合健診)

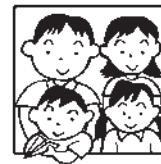




ふれあいひろば



早川南小学校2年生
手づか 春さん



「すいか」
南保育所 もちづき さなさん

「おおきくよつこら
アースクリー」や、人になりたいです。

～早川南小学校2年生作文～

「なつ休みたのしかつたことと、二学きがんばりたいこと」

手づか 春さん

はる



ぼくがなつ休みでたのしかつたことは、「すいすいぶね」のこうさくをしたことです。ぎゅうにゅうパック二つ、コップ、ストロー、つまようじでつくりました。パパがカツターデギュウにゅうパックを切つて、それをぼくがセロハンテープでくつつけました。このおもちゃは、水をコップに入れて、ストローから出る水がふねをおすしくみです。このおもちゃはおもしろいです。学校のプールでみんなどうごかしました。

ぼくが二学きにがんばりたいことは、ずこうでものをつくることです。一学きもがんばりましたが、二学きはもつとがんばります。また、二学きは、こくごでかん字をがんばりたいです。あたらしいかん字をおぼえるのがたのしみです。今までならったかん字もしつかり書けるようになります。

ぼくがなつ休みでたのしかつたことは、「すいすいぶね」のこうさくをしたことです。ぎゅうにゅうパック二つ、コップ、ストロー、つまようじでつくりました。パパがカツターデギュウにゅうパックを切つて、それをぼくがセロハンテープでくつつけました。このおもちゃは、水をコップに入れて、ストローから出る水がふねをおすしくみです。このおもちゃはおもしろいです。学校のプールでみんなどうごかしました。

ぼくが二学きにがんばりたいことは、ずこうでものをつくることです。一学きもがんばりましたが、二学きはもつとがんばります。また、二学きは、こくごでかん字をがんばりたいです。あたらしいかん字をおぼえるのがたのしみです。今までならったかん字もしつかり書けるようになります。

町民文芸一俳句

早川町二十日会

山道に葛のわがまま廻り道

盆客を急かせて台風過ぎにけり

早川俊英

夏草の繁る空き家に明かり点く

保坂紀恵



幼子を囲み線香花火の夜

長谷川縫子

炎天の大波小波はしゃぐ子等

望月和枝

真つ先に胡瓜頬張る小さき手

望月真智子

秋暑し届きしままの回覧板

諏訪恭市

まちの話題



8月10日、町民スポーツ広場において第2回支部対抗グラウンドゴルフ大会が行われ、参加した皆さんはプレーを楽しんでいました。最終回は9月22日に行う予定です。



8月16日、ヴィラ雨畠グラウンドにおいて花火大会が行われました。打ち上げ花火やナイアガラ花火等様々な花火が上がり、来場者は夏の夜を楽しんでいました。



8月24日、大阪で行われた全国中学校陸上大会において早川中学校3年生深沢瑞樹さん（奈良田）が走り幅跳びで7m03の記録を出し、全国3位という素晴らしい成績を収めました。



8月25日、総合防災訓練が町内で一斉に行われました。各地区において、消火訓練や小型ポンプの点検等が実施されました。また、古屋・中洲においては併せて要配慮者避難訓練も行われました。

私は、松本記者からこの特集を組みたい
というお話をあった時から、喜んで歓迎い
たしました。どのように記者の目で早川町
を見てくるのだろうか、私の期待と予想通
りの早川特集でした。

自信を持つてもいい早川の資源の豊富さ、
地元で頑張ってくれている人々のふるさと
への思い、こうした中での町の将来への期
待など、勇気づけられた早川特集に感謝す
るとともに、夏にふさわしい別の意味で私
たちを熱くしてくれた特集記事でした。

「本流堂」の川下り体験、有害の鹿の捕獲体験、雨畠硯づくりへの挑戦、NPO「早川エコファーム」が昔風のみそづくりの復活を目指すための農作業体験、松本記者が取材のために暮らした奈良田集落の元気を取り戻しつつある今の様子等々、そして、赤沢宿の「清水屋」の管理と「シカアジト通信」を創刊した、4年前から町に移住してきて頑張ってくれている串田さんの紹介も大きく記事になりました。併せて、人口減少化の地域の実情やその中で頑張ってくれている人々の思いと、これからの人口問題に関する展望などと、幅広く町の現状を紹介してくれました。

この夏は、読売新聞が早川の特集記事を11回にわたって連載し、町を紹介してくれました。町づくりに頑張ってくれている人たち、直面している町の課題、また将来への可能性など、幅広い早川の取材内容でした。多くの人たちに早川を知つてもらい、また理解してもらえたと思える内容でした。

読売新聞甲府支局松本健太朗記者が一ヶ月以上にわたって7月から奈良田区の空き家を借りて、町内をめぐつて自身の体験を通してのものです。

いんじちせ町壁です

人の動き 人口1,051人 男525人 女526人 世帯数612戸(9月1日現在)